

# 生徒一人ひとりが<sup>ひかり</sup>太陽輝く学校「SUN商」

## ～資格、部活、地域とのパートナーシップで人間力を高める三商～

本校は、昭和3年に東京府立第三商業学校として開校し、95年の伝統をもつ商業高校である。学習と各種活動に積極的に取り組みながら、盛況な地域社会に応援され、地元根差した活動を展開している。

この長い歴史と伝統を踏まえ、日常の教育活動を充実させつつ、生徒の満足、保護者の信頼、地域の応援、教職員の充実が達成できる学校づくりを目指す。そして、社会の変化が激しい時代を見据えながら、ビジネスに関する有益な知識や技能を習得し、国際感覚を磨き、自己の実現に向け、自律ができ、自ら考え判断できる創造的な人間の育成を図る。

### 1 目指す学校像

- (1) 生徒の人権を尊重しつつ、基本的な生活習慣を確立し、個性の伸長に努め、豊かな人間性の育成と健康の増進を図る。
- (2) 基礎学力を身に付けさせ、生徒一人一人の能力や適性を引き出し、主体的に判断し行動できる資質や能力の育成を図る。
- (3) わが国の経済社会を担う人材を育成するため、ビジネスに関する基本的な知識と技術を習得させるとともに、専門性の深化を図る。
- (4) 地域貢献活動や地域連携活動により、健全育成を図るとともに、魅力ある商業高校として、地域に愛され、深く信頼される学校として教育活動の充実を図る。
- (5) 国際化が進むわが国の経済社会の変化に適合していくため、体験的な活動により異文化理解をすすめる、グローバル化に対応していく文化的な素養を高揚させる。

### 2 中期的目標と方策

#### (1) 学校運営

- ① 都立高校学校経営指標に基づいた学校運営を通して、全教職員が課題を共有し、また、課題解決に向けた協力体制を強化し、組織的な学校運営を推進する。
- ② ライフ・ワーク・バランスを推進し、執務ガイドラインの活用や各分掌の業務の精査を行うとともにマネジメントサイクル（PDCA）を取り入れ、課題解決に向けた効率的な校務運営を行う。
- ③ 若手教職員等の指導力向上を図るために、OJT診断基準を活用したOJTの推進に取り組み、組織的な支援体制を構築し、学校の教育力及び組織力の向上を図る。
- ④ 地元自治体、企業、商店街、各学校との連携により、ビジネスマナーの習得と、学校で学んだ知識や技術の定着を図るとともに、社会に通用する実践的な能力の育成を図る。また、地域の町おこしに積極的に貢献し、ビジネスモデルを提案するなど、地域から愛される三商をめざす。
- ⑤ 地域の教育資源や外部人材を活用し、生徒の社会的自立に必要な力を育む教育を一層充実させ、学校と地域が組織的・継続的に連携・協働するためのしくみを整備する。また地域が学校を支援し、学校が地域に貢献する『地域との連携・協働』をブランドイメージとする学校づくりを推進する。

- ⑥ Teams を効果的に活用し、オンライン授業への対応を組織的に実践する。また、オンライン職員会議を開き活用する。

## (2) 学習指導

- ① 主体性をもって多様な人々と協議し問題を発見し、解決策を見出していく主体的、対話的な深い学びの視点に立った学習の充実を図り、幅広い教養を身に着ける素地となる知識・技能の習得に加えて、思考力・判断力・表現力等の能力や、主体的に学習に取り組む態度を育成する。
- ② 基礎・基本の充実を図るため、本校生徒の実態に即した学力スタンダードを策定し、国語・数学・英語・商業の各科目の計画的な指導を通じて学力向上を推進する。特に、読み・書き・計算・一般常識など、社会生活に必要な知識や技術を習得させることに重点を置き、ビジネスに関する基本的な資格取得の充実を図る。
- ③ 自己や全体の状況を把握し、自ら課題を発見し課題解決できる能力を育成することにより、自らの進路を切り開いていく実践的な力の育成と専門性の深化を図る。
- ④ 学習到達度を明確にした習熟度別授業や少人数制授業を行い、きめ細かい教育を実施するとともに、国語等や図書室の活用を通して、言語活動の充実と読書活動の推進を図る。
- ⑤ オリンピック、パラリンピック教育を推進し、東京 2020 大会のレガシーとして、日本の伝統文化及び規範意識や、公共の精神覚を学ぶことを通じて日本人としての誇りを身に付けさせる。

## (3) 生活指導

- ① 基本的な生活習慣や授業規律を確立するために、家庭との連携を強化して、きめ細かい指導により、生徒に自覚と責任をもたせるようマナーの定着と生活指導の徹底を図る。
- ② 体罰や不適切な指導をなくし、生徒の心に訴える指導、生徒の心に響く指導を通して、生徒との間に信頼関係を構築する。
- ③ 家庭やスクールカウンセラー、関係諸機関と連携を図り、全教職員が協力して問題解決を組織的に行うとともに、生徒情報の共有化を図るための拡大生活指導部会や拡大学年会の充実を図る。
- ④ チャイムで授業を開始し、チャイムで授業を終了する等、授業規律の徹底を図る。

## (4) 進路指導

- ① 1年次の「ホームルーム」を充実させ、自らの生き方在り方を考えさせるとともに、生徒意識調査や職業適性検査、進路先の調査、資格取得等の計画的・組織的な進路指導を通して進路保証を図る。
- ② 各種機関との連携を深め、インターンシップを充実させ、望ましい職業観・勤労観を育成するとともに、奉仕体験学習の機会を多く取入れ、社会性の体得やビジネスマナー等実践的な対応力を育成する。
- ③ 3年間の「キャリア教育推進計画（学習・生活・進路）」に基づいて、学年と連携を図って計画的に取組み、生徒の進路実現を図るために拡大進路指導部会の充実を図る。

## (5) 特別活動・部活動

- ① 学習と特別活動の両立により、豊かな人間性の育成と個性の伸張を図るとともに学校への帰属意

識や連帯感、達成感等を育てる。

- ② 年間指導計画に基づいてホームルーム活動の充実を図り、生徒相互の人間関係を築き、課題解決能力やコミュニケーション能力の育成を図る。
- ③ 学校行事の意義付けの明確化と質的向上を図り、生徒に達成感や協調性をもたせ、豊かな人間性をはぐくむ。
- ④ 部活動の指導に当たり、部活動の顧問は年間指導計画等を作成し、保護者会を開催するなど、部活動の運営について保護者の理解に努める。また、定期的な顧問会議の開催を通して、顧問の指導レベルの向上を図るとともに、部活動の課題を共有し課題解決に向けて取り組む。
- ⑤ 部活動の参加率の一層の向上と指導内容の工夫を図り、生徒の意欲的な活動や主体的な行動ができる生徒を育成し、生徒に充実感や満足感をもたせる。また、部活動顧問会議や部長会議において、時間を守ることを、挨拶をすることを、片づけを行うことなどを通して、生徒の主体的な行動をはぐくむ。

## (6) 安全・健康指導

- ① 飲酒・喫煙・薬物乱用防止等に向けたセーフティ教室や情報モラル教育を通して、生徒の安全・健康指導を行う。また、地震や火災を想定した避難訓練を通して防災教育に実践的に取り組むとともに、生徒の健康や安全に対する意識の向上を図り、自助・共助・公助の精神を培う。
- ② 食育指導を充実し、基本的な生活習慣の確立と健康保持の自覚を高める。
- ③ 交通安全教育を通し、交通規則を遵守させ、マナーの向上を図り、自他の生命を尊重させる。
- ④ 日常より生徒の健康管理について全教職員で情報共有を行い、安全衛生指導等を施し、特に、感染症予防を徹底し、安心・安全な教育活動を実施していく。

## (7) 広報・募集

- ① 教育活動を地域住民、中学生、保護者等にPRし、本校で学びたいと希望する生徒を募集するため、募集対策委員会を組織するとともに塾訪問や中学生対象のマナー講座などの出前授業を積極的に取り入れ、広報活動を充実させる。
- ② 教育活動の情報を広く対外的に発信するために、ホームページやツイッターの更新を定期的に行い、学校ホームページの充実を図る。
- ③ PTA等との連携を図った募集・広報活動を推進する。

## (8) 施設設備管理・経営企画室運営

- ① 自律経営推進予算を有効活用し、教育環境整備に投資し、教育活動が円滑に推進できるよう、よりよい教育環境を整備する。
- ② 経営参画ガイドラインを指標とし、学校経営状況を把握・分析し、教員との連携を深めながら適正な事務運営を行う。

## (9) 学校評価による学校改革の推進と組織的対応力の向上

- ① 各分掌や教科等における評価・改善と学校運営連絡協議会における生徒や保護者からの評価、生徒による授業評価等を通して、授業や生徒指導、特別活動等の見直しと改善を図り、魅力ある教育

課程の編成を図る。

- ② 生徒や保護者、地域の期待に応えるために、教職員の組織的対応力を高め、課題に誠実に対応するよう、意識変革を推進するとともに、一層のサービスの厳正を図る。

### 3 今年度の取組目標と方策

#### (1) 今年のテーマ

今年度の教育活動の重点は、「三商だからできる夢の実現」をテーマとし、「**学力向上と資格取得**」「**キャリア教育の充実**」「**コミュニケーション能力を身に付けた人間性豊かな人材の育成**」の3点を掲げる。

生徒が、本校の高校生活を通して感動体験を積み重ね、「入学して良かった、卒業して良かった。」と心から思える学校とする。そのために、本校の入口・教育活動・出口の質の向上が必要不可欠であり、教育のプロ集団としての教職員がより結束力を高め、教育活動の全てを「見える化」し、一つ一つの教育活動を関連させ指導の徹底を図る。

#### (2) 学校運営

- ① 全教職員の共通理解に基づき、全ての教育活動において全教職員の力を結集して課題解決に臨み、主幹教諭や分掌主任を中心とした組織的な学校運営を推進する。
- ② 各分掌における仕事の効率化を図るために、分掌組織のマネジメントサイクル（PDCA）を取り入れて効果的な進行管理と学校運営を行う。
- ③ 若手教職員等に対応して、主幹教諭や主任教諭の経験を活かした職場内OJTを推進する。特に、教員相互の授業参観を通して学び合う機会を増やし、若手教職員等の育成を図る。
- ④ 環境教育、防災教育、道徳教育、奉仕体験活動等を充実させるために、調査研究活動を行うとともに、地域との連携強化を図り、社会貢献を担える生徒の育成を行う。
- ⑤ 地域連携委員会を中心とした組織的地域連携事業を計画・実施する。  
(商店街イベントの企画・運営、新たなビジネスモデルの発案、新商品開発 等)
- ⑥ 計画的な仕事の進め方により業務の効率化を徹底し、教職員一人ひとりのライフ・ワーク・バランスの実現を図る。
- ⑦ Teams を効果的に活用し、オンライン授業への対応を組織的に実践する。また、オンライン職員会議を開き活用する。

#### (3) 学習指導

- ① 「主体的、対話的な深い学び」の実現
  - ・「アクティブ・ラーニング」の指導方法や評価方法に関する校内研修を実施する。
  - ・「アクティブ・ラーニング」の指導方法に対する理解を深めるため、Find! アクティブラーナーのWebサイトを活用し、先進的に取り組んでいる教員の実践を情報収集し、授業に取り入れる。
  - ・「アクティブ・ラーニング」の「手法」(cf.知識構成型ジグソー法・ケーススタディ・ディベート・ロジカルシンキング等)を活用した実践を行い、全教科で指導の充実を図る。
  - ・観点別評価方法について研究し、実践する。

- ・「課題研究」、「広告と販売促進」、「マーケティング」を通じて、実践的なビジネス活動についての理解を深めさせる。

## ② 地域連携の取組

- ・アクティブ・ラーニングを発展させ、地域連携をさらに推進する。
- ・様々な地域住民の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに学校を核とした地域作りを目指して地域と学校が連携・協働して行う活動を実施する。
- ・地域学校協働活動等の総合的な調整役を担う地域コーディネーターを配置する。コーディネーター機能を強化し、学校と地域が組織的・継続的に連携・協働するための緩やかなネットワークを形成することにより、地域学校協働活動を推進する体制を整備する。
- ・文教地区の利点を生かし、小学校・中学校・高等学校・大学等の連携を図り、本校が中心となったフューチャーセンターの運営を充実させる。

## ③ 基礎・基本の充実

- ・学力スタンダード、技能スタンダードを充実し、計画的な基礎・基本の定着と学力向上を図る。
- ・各教科会で学力スタンダードに基づいた指導計画の立案と教科指導の進行管理を行い、授業改善のサイクルを確立する。
- ・参加型・体験型・ICT機器を活用した授業を通じて、生徒に学ぶ楽しさを実感させる。
- ・全教科で「話す・聞く・書く・読む」等の言語活動を授業に導入し、学力の向上を図る。
- ・小テストや家庭学習などを通じて、基礎学力の向上に努める。
- ・国語・数学・英語・商業における学習到達度を明確にした習熟度別授業を通して基礎学力の定着を図る。
- ・一般教養の内容について、各教科に意図的・計画的に導入を図る。

## ④ 専門性と実践力の深化

### ・高度資格取得のための指導の充実

組織的、計画的な補習を実施することにより、基礎的な検定資格取得を確実なものとするとともに、より高度な資格習得に挑戦させる。また、各種検定試験をスモールステップとして、商業科目の学習へのモチベーションを高める。

- ・地域や商店街との連携及び奉仕体験活動を通して実践力を養う。

## ⑤ 教育課程のさらなる充実

- ・生徒のニーズにあった学校設定科目及び選択科目の検証と改善
- ・段階的かつ系統的な学習指導と資格検定の検証と改善
- ・教科「人間と社会」を2年次の学校設定科目「ライフビジョン」で実施する。

## ⑥ Tokyo 2020のレガシーとして定着を図る

- ・ボランティアマインドの醸成や障害者理解教育の促進を図る。
- ・基礎的な知識及び技能を習得（「学ぶ（知る）」）し、その上で、生徒たち自身が、興味・関心を持ち、自ら抱いた疑問や課題を解決するために、実際に観たり（「観る」）、体験や交流をしたりする（する「体験・交流」）といった活動を重視する。

## ⑦ 国際理解教育の推進

- ・ホームステイ、次世代リーダー育成道場の参加を推進するとともに、国際交流を積極的に行う。

#### (4) 生活指導・進路指導

##### ① 基本的な生活習慣の確立

- ・生活指導部を中心とした全教職員による組織的な生活指導の徹底を図り、挨拶の励行や毎朝の遅刻、清掃、頭髪・身だしなみ指導の基本的な生活習慣を確立する。(返事をする、止まる、直す)
- ・授業規律の確立及び挨拶等の励行と奉仕体験活動による人としてのマナーを確立する。
- ・遅刻に対する指導を徹底するとともに、家庭やスクールカウンセラーと連携し、学校不適応や問題行動を未然防止する。
- ・セーフティ教室等を活用し、安全教育の推進を図り、登下校時のマナーや安全に行動できる資質や能力を習得させる。
- ・外部からの苦情を改善のためのよきアドバイスにとらえ、スピード感ある誠実な対応・改善を実施し、苦情をなくす。

##### ② 目標管理型の進路指導システムの構築

- ・進路指導部と学年の連携による進路指導の充実  
進路資料閲覧室と掲示板や図書室を活用し、生徒の自発的な進路活動を支援するとともに、過去の進路情報をデータベース化し、適切な進路指導を実施する。
- ・資格取得等の計画的かつ組織的な進路指導の充実  
系統的な指導計画に基づく組織的・計画的な資格取得や相談機能等を充実させ、生徒一人ひとりの進路実現を図る。
- ・キャリア教育の組織的かつ計画的な実施  
1年次の「ホームルーム」と2年次の「インターンシップ」を有効に活用し、地域や地元企業と連携することにより、マナーやコミュニケーション能力を育成するとともに、進路先選択能力や進路意識を確立させる。

##### ③ 防災教育の充実

- ・宿泊防災訓練等による防災能力の向上
- ・地域や関係機関と連携した防災教育の推進
- ・多様な想定下での避難訓練を通じて、実践的な防災能力を育成する。

#### (5) 特別活動・部活動

- ・生徒の委員会組織を活用した学校行事の実施  
生徒会や委員会活動を活性化し、ホームルームや学校行事を通して、学校生活の満足度を高めるとともに、社会性を育み自主性・自律性を高め、生徒による自治意識を涵養する。
- ・3年間を見通した年間ホームルーム指導計画の策定と改善  
年間指導計画に基づいてホームルーム活動の充実を図り、生徒相互の人間関係を築き、課題解決能力やコミュニケーション能力の育成を図る
- ・計画的な部活動指導と活動日数や時間等の確保  
部活動の計画的・継続的な指導により、ワンランク上のステージを目指すとともに、外部指導員や人材バンク等を活用し、部活動の指導に外部人材の登用を図る。
- ・自尊心や自己肯定感を高める指導の充実

特別活動や部活動の充実を通して、生徒一人ひとりの存在感と達成感や、学校への帰属意識、クラスの連帯感を高めることにより、学校に生徒の居場所を作る。また、奉仕体験活動を通じて、社会の役に立つ喜びを実感させ、自尊感情を高める。

#### (6) 安全・健康指導

- ・全教職員とスクールカウンセラーが連携して心の健康に関する情報の共有化を図ることにより、相談機能を充実させ、きめ細かい保健指導を実現させるとともに、必要に応じて校内研修を実施する。
- ・健康で安全・安心な学校環境を確立し、生徒自ら自律的な生活管理と健康管理のできる人材の育成を図る。
- ・環境への配慮と校内美化のため、清掃指導やゴミ分別の指導の徹底を図る。

#### (7) 広報・募集活動

- ・教務部を中心に全教職員で中学生や保護者に、本校の教育活動及び商業教育をPRする。
- ・教育活動を具体的に示した内容をタイムリーに校門前掲示板やWebページ・ツイッターに掲載し、情報を提供する。
- ・生徒が通った塾を訪問し、教育活動をPRする。また、中学生対象のマナー講座等の出前授業を積極的に展開する。

#### (8) 図書・視聴覚指導

- ・図書委員会や広報活動を充実させ、図書館の資料の充実と利用の促進を図り、本校生徒の読書活動を推進する。また、各教科と連携して読書習慣を定着させる。
- ・文化的な行事の内容の精選を行い、校外教育活動の充実を図り、教養と知識の定着を図る。

#### (9) 研究・研修

- ・計画的に授業研究・研究協議を実施し、授業力を向上させ、成果を生徒に還元する。
- ・商業教育におけるコミュニケーション能力の向上を校内研修のテーマとし、実践的な教育活動を展開する。
- ・体罰及び暴言の禁止、いじめの未然防止について周知するとともに、必要に応じて研修等を実施して徹底を図る。いじめ対策委員会を活性化させ、教員間での情報共有を図るとともに、いじめの未然防止、早期発見、早期解決のための方法を講じる。いじめはいつさい許さない姿勢で臨む。

## 4 重点目標と数値目標

- (1) 学校運営
  - ① 研究授業 10回以上
  - ② 中途退学率 2%以下
  - ③ 学校満足度 80%以上
- (2) 学習指導
  - ① 授業満足度 75%以上
  - ② 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善 全教科
- (3) 生活指導
  - ① 遅刻生徒 2%以下
  - ② 特別指導対象件数 5件以下
- (4) 進路指導
  - ① 進路指導満足度 70%以上
  - ② 進路決定率 100%
- (5) 特別活動・部活動
  - ① 行事満足度 65%以上
  - ② 部活動加入率 80%以上
- (6) 広報・募集活動
  - ① ホームページ更新 50回以上
  - ② ツイッター 10回以上
  - ③ 授業公開、体験入学、学校説明会 各3回以上
  - ④ 応募倍率 推薦2.0倍以上 学力選抜1.1倍以上
- (7) 資格取得
  - ① 1年次簿記検定3級以上合格率 80%以上
  - ② 1年次情報処理検定3級以上合格率 80%以上
  - ③ 1年次ビジネス文書実務検定3級以上合格率 80%以上
  - ④ 1年次英語検定3級以上合格率 50%以上
- (8) 地域連携事業
  - ① 地域貢献度 70%以上
  - ② 学校施設開放貢献度 70%以上
  - ③ 公開講座受講満足度 70%以上
- (9) 各種大会、競技会
  - ① 東京都高等学校簿記コンクールへの出場
  - ② 東京都情報処理競技大会への出場
  - ③ 東京都高等学校珠算・電卓競技大会への出場
  - ④ 東京都高等学校ワープロ競技大会への出場
  - ⑤ 東京都商業高等学校英語スピーチコンテストへの出場
  - ⑥ English Business Plan Contest への出場
  - ⑦ 生徒商業研究大会東京大会への出場